

総合診療学実習で得た貴重な経験と気づき

2月10日から1ヶ月間、鶴岡市立荘内病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。今回の病院実習では、小児科と循環器内科での診療を見学し、外来や心不全管理、カテーテル治療の現場を間近で学ぶ貴重な経験をさせていただきました。外来実習では、丁寧かつ詳細な問診ができて初めて鑑別を挙げることができること、また患者さんの発した言葉から会話を広げていくことの難しさを身を持って感じることができました。

興味があった循環器内科の実習では、主に急性期から慢性期までの管理の流れを学びました。特に、心不全管理に関する実際の診療を見学し、医師が頭の中で何を考えて検査や治療を行なっているのか多くを聞き出すことができました。単に教科書的な流れに従うのではなく、患者さんの状態に合わせ柔軟な判断が必要だと気付かされました。

私も患者さん一人一人に合った治療やケアを提案できる医師を目指したいと改めて感じました。今回の実習で学んだこれらの視点を、今後の実習にも活かしていきたいです。